

# 組立設置説明書

## 薄型テレビ用アーム式壁掛け金具

# MKB-SA2343

(23～43インチTV用)

本体質量：2.3kg 最大搭載荷重：30kg

取付可能寸法：W100×H100 W200×H200 W200×H100

このたびは、当社の『薄型テレビ用アーム式壁掛け金具』をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。本製品の性能を十分に発揮させ、効果的にご利用いただくため、ご使用前にこの組立設置説明書を最後までお読みになって、安全に正しくご使用ください。お読みになったあとは、必要に応じていつでも取り出せるように大切に保管してください。

### 取付業者指定商品

本製品の取付工事は必ず取付工事専門業者にご依頼ください。この商品は落下事故などの危険を防ぐため、取付方法などに十分注意をする必要があります。従って、本製品は十分な技術、技能を有する取付工事専門業者が施工を行うことを前提として販売されている「取付工事業者指定商品」です。

### 事故損傷について




組立不良、取付工事不良、取付強度不足、誤使用、改造及び天災などによる事故などにつきましては、当社は一切責任を負いかねますので、ご了承ください。

## 安全上のご注意

本製品をご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに示した注意事項は、本製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「危険」「警告」「注意」に区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

### ◆絵表示について◆

この「組立設置説明書」には、本製品を安全に正しく組立・設置していただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示を示しています。これらの表示を意味は以下のようになっています。内容をよく理解したうえで本文をお読みください。

 <b>危険</b>	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
 <b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び、物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

### ◆絵表示の例◆



記号は注意(危険・警告を含む)を促す内容であることを告げるものです。



禁止

記号は禁止の行為であることを告げるものです。

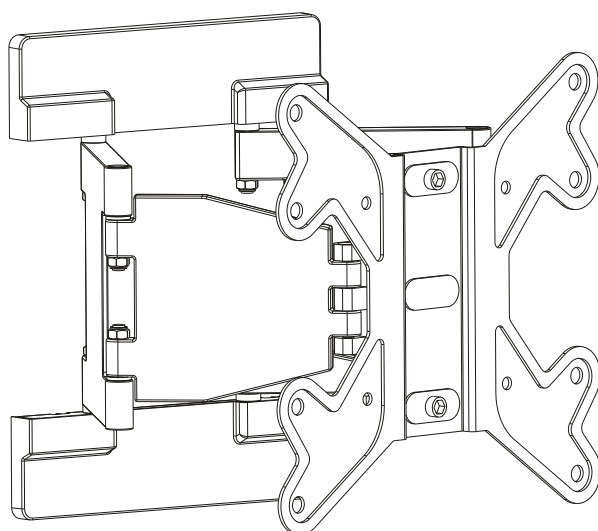


電源プラグを  
コンセントから抜け

記号は行為を強制したり、指示する内容を告げるものです。

## <構成部品>

以下の部品が全て揃っているかをご確認ください。



A テレビ金具本体



B 六角レンチ



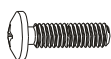
C レンチ



D M6 ナット(予備用)

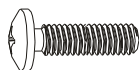
### ■ネジパッケージM

M-A



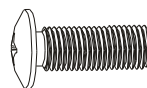
M4×14mmボルト…4本

M-B



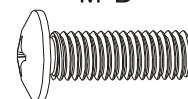
M5×14mmボルト…4本

M-C



M6×14mmボルト…4本

M-D



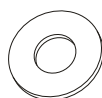
M8×20mmボルト…4本

M-E



M5×ワッシャー…4個

M-F



M8×ワッシャー…4個

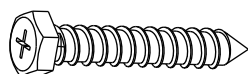
M-G



スペーサー…8個

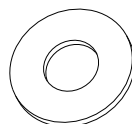
### ■ネジパッケージW

W-A



壁用ラグボルト  
6.3×55mm…6本

W-B



壁面用ワッシャー…6本

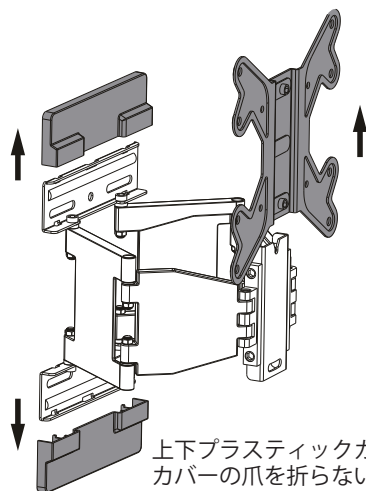
W-C



コンクリートアンカー…6本

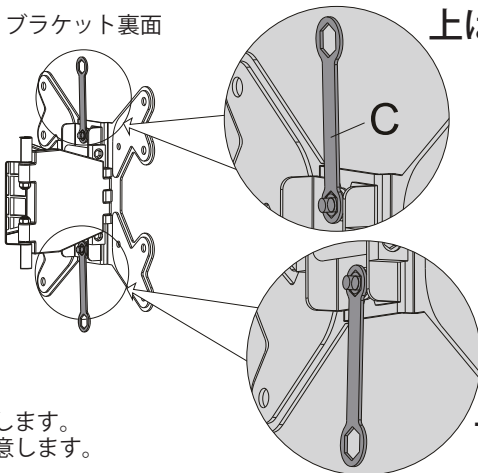
## 手順 1

## テレビ金具本体の分割



上下プラスチックカバーを外します。  
カバーの爪を折らないように注意します。

ブラケット裏面



上は緩めて下さい



テレビブラケットをレンチを使って外します。  
ナットは、上下2か所あります。

- 上のナット  
→少し緩める
- 下のナット  
→外す。無くさないように

D [M6 ナット]



下は外して下さい

- 壁面プレート部にあたる上下の黒いプラスチックカバーを外します。
- レンチ [C] を用いてナットを緩めて、テレビブラケット部を外します。

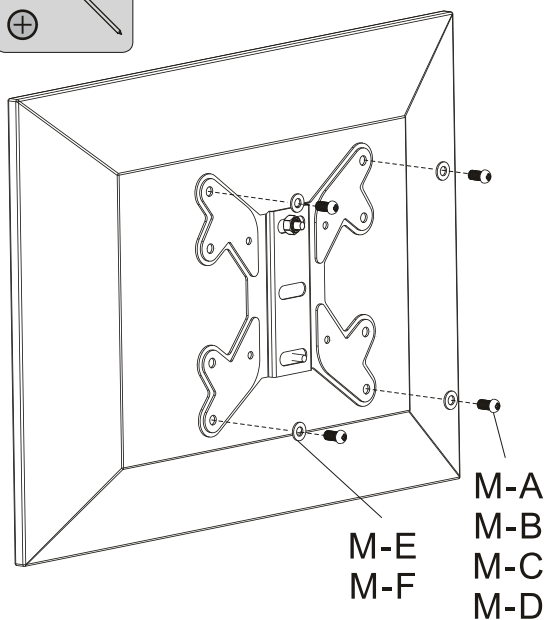
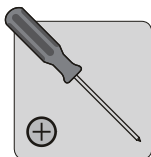
※紛失した場合は予備用のM6ナットをご使用下さい



- 1) テレビブラケットを外すときは、上下2か所のナットを緩めます。
- 2) 上部のナットは緩めるだけで構いません。下部のナットは完全に外します。

## 手順 2

## テレビブラケットの取り付け

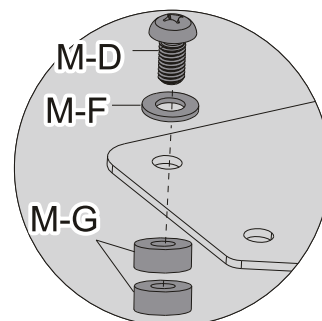


手順1 で取り外したテレビブラケットをテレビに取付します。  
左記のイラストを見て金具の上下を間違えないようにしてください。  
ネジ穴を合わせて、ネジ [M-A ~ M-D] とワッシャー [M-E、M-F] で取付をします。  
テレビに合うネジを使用してください。

- ネジの長さが余る  
(M-D ネジ使用時) 場合の設置

M8 ネジ [M-D] 使用時に、ネジの長さが余ってしまう場合、右図のようにスペーサー [M-G] を金具とテレビの間に挟んでネジ止めします。  
使用するスペーサーの数は、ネジの長さの余り具合によって、1個か2個重ねるかを選んでください。

※それでも余る場合は適切なビスを別途ホームセンター等でご購入ください。



- 1) ブラケットの上下を間違えないように注意してください。
- 2) 万一、ネジが合わない場合、別途ホームセンター等で適切なビスをご購入ください。



テレビ壁掛けの最重要ステップです。

取り付けは、慎重・確実に作業するようにしてください。

壁面への取付不備による事故・損害については、一切の保証がありません。少しでも不安に感じたら、お近くの内装業者・電設業者に相談してください。

最重要ポイント

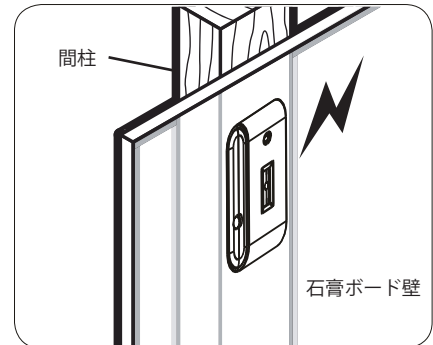
壁裏の間柱や強度の強い壁に設置を！！石膏ボードのみへのネジ打ちでは強度不足です！

●壁の構造について（必ず耐荷重のある壁への設置を！）

設置は補強のある壁、もしくは壁裏の間柱（スタッド）に行ってください。石膏ボード壁の場合、ボードのみの部分にネジ打ちする事の無いよう、十分に注意ください。壁裏の間柱を見つけるにはホームセンター等で売っている壁裏センサー（1500円程度）やキリを更に細くした検知針が便利です。

●間柱を見つけたら

間柱を発見した場合、間柱の「中央」にネジを打つ必要があります。間柱の端にネジを打つと強度が不十分だったり、間柱が割れてしまう事もあるので注意しましょう。詳しくは、センサーや検知針の説明書をご覧ください。



●一般的石膏ボード壁の場合  
壁裏センサーを使用して間柱を見つける。  
キリ等を使う場合、何度か刺して柱の中央を見つけましょう。



間柱に設置を

あると便利  
壁裏センサー

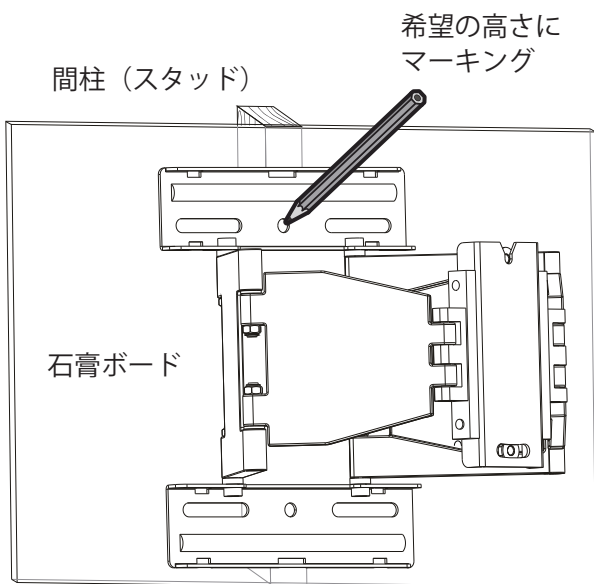
マーキング

1) 設置位置の確定

現在の主流である石膏ボード壁の場合、上記を参考に壁裏の間柱（スタッド）を見つけてください。

間柱は一般的に 40～45センチ幅で設置されている事が多いようです。ご参考ください。

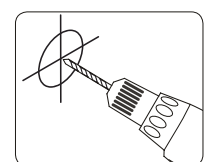
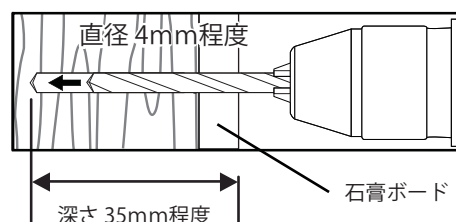
間柱が確定したら、左図のようにネジ穴にマーキングをします。



2) ネジ打ち用下穴の開口

壁を横から見た断面図（下）を参考にして、ネジ打ち用の下穴を開けます。電動ドリルがあると便利です。壁にキズをつけますので、慎重に作業を行ってください。

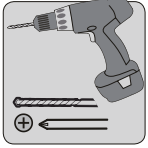
下穴を開けて置くと [手順3-B] が楽になり、工事の失敗の可能性が下がります。



下穴は真っ直ぐに開けるよう注意を

### 手順 3-B

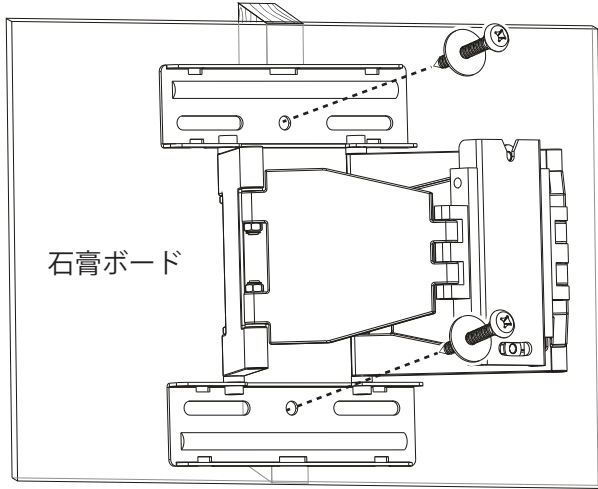
### 壁面への金具の取り付け



壁へのネジ打ち

間柱 (スタッド)

W-A  
W-B



- 左図を参考に 6.3×55mmラグボルト [W-A] を使用して金具を壁面にしっかりと打ち付けます。又は取付面に合った適切なビスをご使用ください。



参考

間柱に上下2点打ちで十分な強度が得られますが、より強度を得たい方は、付属のボルトを使用して、より多く打つようにして下さい。石膏ボードの場合、ホームセンターで売っている石膏ボード用アンカーも有効です。



ご注意

最重要ポイント

必ず、間柱などに設置を！！

ネジ打ち後、少しでも違和感を感じたら（ネジの空効き等）設置を中断し、専門業者に相談してください。

### 手順 4

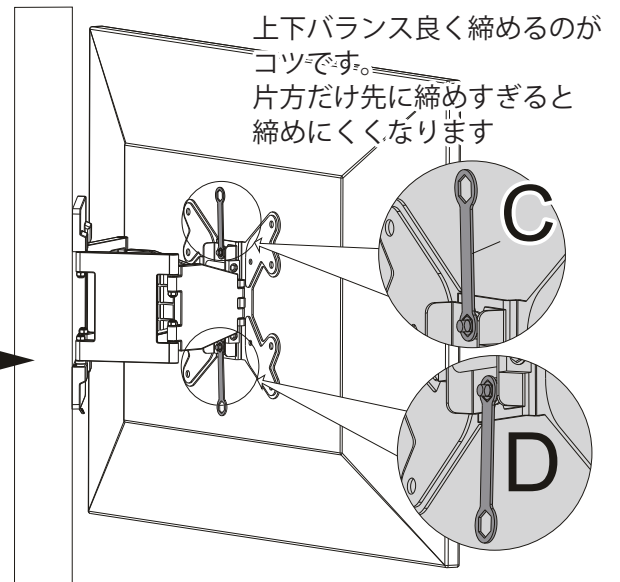
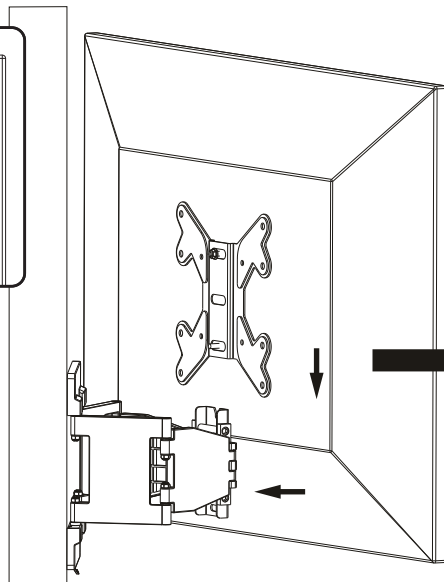
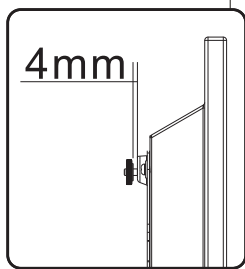
### テレビブラケットと金具本体の組み立て



二人での作業を推奨

- 手順1で外したナット [D] を用意します。
- 上下2つのナットがありますが、上部ナットについて、左下図を参考に約4mm程度緩めて付けておきます。
- テレビとテレビブラケットを二人で持って、壁に取り付けた金具本体に引っかけます。引っかけただけの段階では落下の危険があるので、一人がテレビを支えるようにします。
- 右下図を参考にレンチでナットをしっかりとバランスよく締めます。

上部ナットを4mm程度緩めておきます。



上下バランス良く締めるのがコツです。  
片方だけ先に締めすぎると締めにくくなります



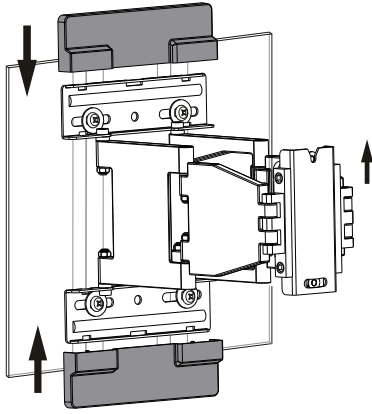
ご注意

最重要ポイント

六角ボルトを締めるまではテレビの落下が無いよう細心の注意を払ってください。

## 手順5

## プラスチックカバーの取り付け



- 図を参考にプラスチックカバーを取り付けます。
- メンテナンスを考慮して比較的外れやすくなっています。自然に落脱してしまう場合、上下のカバーを入れ替えて付けてみてください。改善されます。



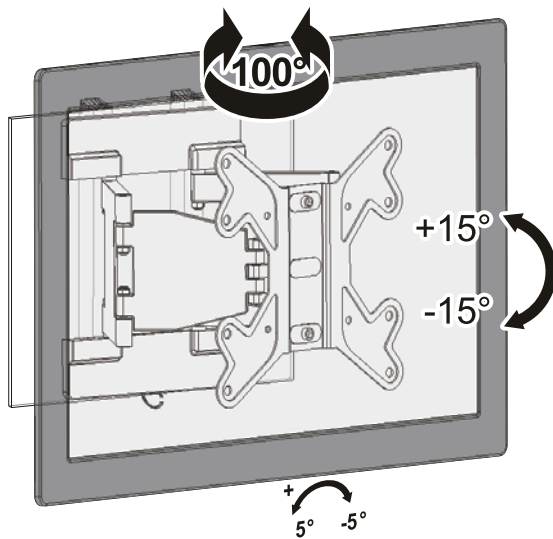
ご注意

### アームを壁に畳んだ状態について

壁に最もアームを畳んだ際に、テレビの荷重によって、若干(5mm~1cm)壁から前に出る場合がありますが、動作不良ではありません。

## 手順6

## さまざまな角度調節機能について

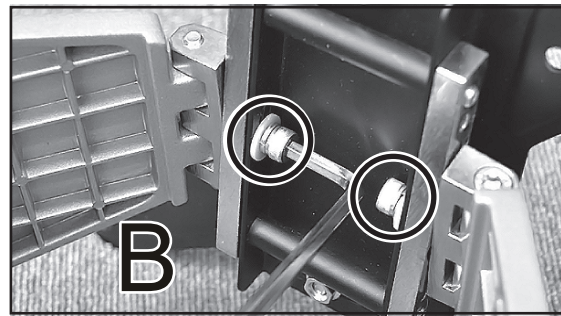


### ●左右角度調節

当商品の最大のポイントです。左右の角度調節が非常になめらかで、簡単です。

### ●上下角度調節

お好みの角度を決めたら六角レンチ[B]で固定してください。



## 手順7

## 画面水平角度の調節について

- 当商品は、車のハンドルのように画面そのものを回転させる事の出来る機能(5度)があります。仮に設置時に水平を取り間違えた時があった場合もこの機能により調節が可能です。画面を両手で持って、水平を取りたい方向にハンドル回転操作します。



ご注意

### 水平動作に関してのご説明

- 1) 水平動作をしようとする時、他の駆動部分(アーム関節部等)もつられて動きますので、少し力を入れて、ゆっくりと行ってください。
- 2) 水平動作は、5度分です。上記の通り、他の駆動部分の動きがある為、一瞬5度以上回転するように感じますが、手を放すと最大5度分に落ち着きます。

## 手順8

## 取付の終了と確認

各取り付け部分や壁面部を再度チェックしてください。少しでも違和感があった場合、テレビを一旦取り外し、専門業者に相談してください。 ※アームの駆動部には遊びがあります。これらのチェック作業は3か月程度を目安に定期的に行い、経年使用による落下などが無いように注意してください。

※本製品の仕様及び外観は改良のため、予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

《販売元》 エム・エム・ケー株式会社

〒594-0042 大阪府和泉市箕形町 1-6-23  
TEL (0725) 40 2227 FAX (0725) 40 2228